

データ作成時にご注意いただくこと【Adobe Illustrator 編】

Adobe Illustrator でデータを作成する際にお読みください。

テンプレートについて

ダイカットステッカー 80 角以内 白版あり 製品仕様：仕上がりサイズ：80×80mm 以内

diecutsticker_80w_ver8.ai (IllustratorCS2 以前用 アートボード：86 x 86mm)

diecutsticker_80w_cs3.ai (IllustratorCS3 以降用 アートボードサイズ：80 x 80mm + 断ち落とし設定 3mm)

データ作成時のチェックポイント

<レイヤーパレットについて>

レイヤー		
		> トンボ
		> アタリ
		> カットパス
		> 先白版
		> カラー版

トンボ・アタリレイヤー

印刷に必要なトンボと、仕上りの目安になるアタリのレイヤーです。

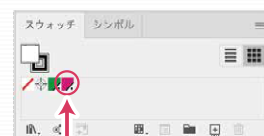
ここには書き込み等をおこなわないでください。

(誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけられています)

カットパスレイヤー

ここにカットラインを「パスデータ」で作成してください。

必ずスウォッチ内の「CutPath」を使用してください。



先白版レイヤー

カラー版のデザインを透けない仕上がりになりたい場合、ここに **K** で白版データを作成してください。グラデーションや K の % を下げることで、半透明のデザインも可能です。

また、**白で表現したいデザインもこのレイヤーに作成**してください。

(カラー版に白でデータを作成されていても、先白版レイヤーに白版データが作成されていない場合、白の印刷はされません。)

カラー版レイヤー

絵柄のデザインはこのレイヤーに行ってください。

このレイヤー内のものはすべて印刷されます。

アタリやメモ書き、透明擬似のグレー等をいれないでください。

<仕上がりイメージ>



- アートボード内に自由にデザインを配置し、お好きな形でカットできます。
- デザイン配置、カットラインの注意点については、次ページをご確認ください。

| カットラインについての注意

<デザインと仕上がりがアタリ、推奨範囲、カットラインについて>



※カットラインのパスポイント数は、**40ポイント以内**で作成してください。

- 必ず「カットパス」レイヤー内にパスデータで作成してください。
カラー版内にデザインデータと一緒に作成されても、カットラインデータとして使用できません。ご注意ください。
- カットラインは、テンプレートのスウォッチ内に予め入っている「CutPath」で作成してください。
(デザイン作成時には「CutPath」は使用しないでください。)
- カットラインは必ずクローズパスで作成してください。
- スタイライズやパスの変形など「効果」メニューで作成されたカットラインは、そのままではカットに反映されません。
必ず「アピアランスの分割」を使用し実線に変更してください。
- カットラインはできるだけ滑らかにしてください。鋭角や複雑な形状は加工できない場合があります。
- ダイカットステッカーではドーナツ型のようにくり抜かれたデザインは対応できません。



問題のないカットライン



問題のあるカットライン



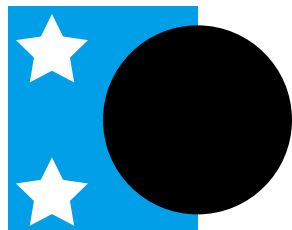
ご入稿前に次ページの「データ入稿前のチェックポイント」を必ずご確認ください。

| オーバープリントについて

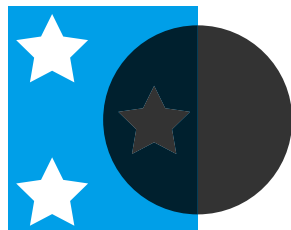
この商品は、黒色（K100%）のオブジェクトに、オーバープリント処理を行います。

オブジェクトが重なっている場合、黒色が透けて印刷されます。

オーバープリント処理を避けたい場合は、黒色（K100%）に別の色（シアン1%など）を加えてください。



デザインデータ



仕上がりイメージ

| データ入稿前のチェックポイント

- ・カラーモードは、**CMYK**にしてください。
- ・全ての文字は、**アウトライン化**をしてください。
- ・**パターン・効果・アピアランス**を使用する場合は、分割・拡張を必ず行ってください。
- ・**4色ベタ（C100%/M100%/Y100%/K100%）**は、しないでください。
※意図的にリッチブラックを使用する場合は、C40%/M40%/Y40%/K100%を推奨します。
- ・画像は、**埋め込み・リンク**をしてください。リンクする場合、画像データも入稿してください。
- ・画像解像度は、原寸で**約300～350dpi**を推奨します。
- ・画像のカラーは、**CMYK**にしてください。
- ・**テンプレートの情報（線・説明文・レイヤーなど）**は、移動・削除をしないでください。
- ・**お使いのバージョン**で、保存してください。
- ・カットパスは、**クローズパス**で作成してください。

白版について

白版（白引き）とは

デザイン（画像・イラストなど）に白色がある場合、素材は透明なので、白色を印刷する必要があります。
白を印刷するためのデータ（白版データ）を、「先・後白版」レイヤーに作成します。

白版の作成方法について

白版データを、デザインデータと同じ大きさで作成する場合、印刷時のズレによって、白がはみ出る恐れがあります。
白版データのサイズは、**デザインデータの「-0.1mm」内側**にしてください。
また、白版データの色は、**黒（K100%）**にしてください。

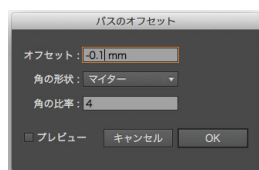
clear file デザインデータ

clear file 白版データ(デザインデータの「-0.1mm」内側・K100%)

clear file

デザインデータと白版データを重ねたときの見え方

※分かりやすいように、白版データを前面にしていますが、本来は白版データが背面になります。



詳しい作成方法

「白版を入れたいデザインをコピー」→「前・後白版レイヤーにペースト」→
「メニューバー」→「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット『-0.1mm』」→
「元のパスを削除」→「白版データの色を、黒（K100%）にする」

白版データの様々なパターン

デザインデータ



全面に白版



部分的に白版



白版無し



透明素材



人物・背景ともに絵柄をくっきりと見せることができます。



背景部分が素材の透明感を生かしたデザインに。



全体がスタンドグラスのような透け感が楽しめるデザインに。

メタリック素材



人物・背景ともに絵柄をくっきりと見せることができます。



背景部分が素材のメタリック感を生かしたデザインに。



全体がクールなメタリック調のデザインに。